

# 交流で広がる友情の輪

## ○本別町との友好の歴史

明治三十年に、当時の徳島県那賀郡立江村（現在の小松島市）の人々が、村長の東條儀三郎を団長として、北海道十勝国中川郡本別町（現在の本別町勇足）に入植し、冬には氷点下三十度以上にもなる極寒の北の地で、うっそうとした原始林を切り開き、その苦勞のうえに、現在の本別町の礎を築きました。



現在の本別町の冬景色

先人の素晴らしい功績を深く心に刻み、その誇りある歴史を語り継ぎながら、小松島市の発展につなげるため、平成十三年に小松島市市制五十周年記念式典及び本別町開町百周年記念式典において「小松島市・本別町友好都市提携調印式」を行い、両市町間の将来に向けた友好とまちの発展を誓い、本格的な交流が始まりました。



## 小松島市・本別町 友好都市宣言締結書

小松島市と本別町は、互いに友好・親善の絆を一層深め、各分野にわたる交流を促進するとともに市政・町政の進展と住民福祉の向上を期するため、小松島市市制施行50周年、本別町開町100年という節目の年を迎えたことを機会に、ここに友好都市盟約を締結する。

平成13年6月1日

## ともに手を携え友好の絆で 未来を創る交流を

小松島市が市制施行され記念すべき六十年を迎えられますことに、心からお祝いを申し上げます。

御市と本町との間に友好都市の関係が結ばれ十年が経過しました。

本町発展の礎となる、勇足地区開拓の歴史的なご縁から、これまでの間、異なる文化・生活習慣等々の中で、さまざまな分野で親密な交流が図られ、相互理解は深まっております。よいご縁をいただいたものと感謝する次第であります。

良きパートナーに恵まれてこそ、その関係は深まり、長いおつきあいにつながるものと思っております。

今後も双方が協力し合い、相互理解と親善を深め、交流で学び得たものをお互いに生かせる関係が続けられることを祈念いたします。

小松島市民の皆様は今後も変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。小松島市のさらなる発展と市民皆様のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉いたします。



本別町長 高橋 正夫

### 「児童の交流」

友好都市宣言の締結よりも前の平成二年十二月から、小松島市立立江小学校と本別町立勇足小学校の間で、児童やその保護者を中心に、文通や学校紹介のビデオレター、郷土絵画の交換による学習交流が行われています。

また、夏には勇足小学校からの訪問団を迎え、冬には本別町へ立江小学校の児童が訪問し、真夏の四国や厳寒の北海道で、未体験の自然にふれながら、それぞれの地域の特色や文化を学んでいます。今までに両市町あわせて延百五十人の児童とその保護者が、この交流によって「友情の輪」を広げています。



両校は、平成五年十二月に姉妹校の締結を行い、今日まで交流を続けています。今後も市内の他の学校も、この交流に参加し、「友情の輪」が大きくなるような取組を進めていきます。



この「友情の輪」の活動は、歴史の糸で深くつながる両校の児童が交流を深めることで、先人の苦労と努力を学び、それぞれのまちの将来を担う貴重な人材として、成長してほしいとの願いも込められています。

### 「小松島市の発展のための交流」

そのほかに、両市町は職員の交流研修を実施し、この十年間で小松島市からは五人の職員を派遣し、本別町からは七人の職員を迎えて、両市町間の友好関係の発展や、市民・団体交流のための橋渡しを担っています。



### 「住民の交流」

立江小学校と勇足小学校との交流をきっかけにして、今までに市民・町民相互の交流も、様々な分野で幅広く続けられています。

小松島市の「港まつり」や「うまいもん祭り」、本別町の「きらめきタウンフェスティバル」や「山溪つつじ祭り」などのお祭りや各種イベントにおいては、それぞれのおまちな新鮮な特産品のPRと販売を行い、多くの人々に親しまれています。また、多くの市民・町民が両市町を訪れ、経済や文化、観光資源や産業を通して交流を深めています。



今後も、相互の友好関係を深めるのもちろんのこと、交流を通じて小松島市の歴史や文化、魅力ある観光資源をPRするための環境づくりや情報発信を積極的に行いながら、本別町との交流を続けます。